

2005年11月26日(土)

2005年度第二回総会

次第書

記

日時：11月26日(土)

場所：千葉工業大学 津田沼校舎7号館7301教室

参加大学：慶応大学、千葉工業大学、東京工業大学、東京大学、東京農工大学、東京理科大学、新潟大学、日本大学、早稲田大学、(芝浦工業大学)

2005年度幹部(以下敬称略)：相澤、伊藤、鈴木、関根、高橋、田村、長添、生江、堀江、宮坂、横山

2006年度幹部：伊藤、及川、小川、片岡、北升、小松、斉藤、高橋、生江、横山

1. 幹部(2005年度、2006年度)自己紹介

氏名、大学名、研究分野を簡単に紹介
新規幹部リストの配布

2. 2006年度幹部より役員の決定

立候補、推薦もしくは投票により決定する

会長(1名)、副会長(1名)、書記(1名)、会計(1名)、HP管理者(1名)、窓口(1名)

3. 役員の業務内容の確認(以下は業務内容例であり、会議により決定する)

会長：全体の統括、企画時の挨拶、総会での司会進行(司会進行補佐)、関東支部との連絡

副会長：企画遂行に関して役員への仕事の分担、総会での司会進行(司会進行主)

書記：総会の議事録作成、企画書・報告書の管理、運営の変更点を随時書き換える、メーリングリストの管理

会計：通帳の管理、企画の支出管理(化工学会への収支報告)

HP管理：HPの管理

窓口：新規参入大学の対応

4. 2005 年度の企画反省（別紙：報告書参照）

要項・運営日程手順書・企画書報告書書式・議事録の改善点（以前の会議で配布した要項・手順書・報告書の様式について改善が必要な点を修正する）

8 月企画・生江

9 月企画・鈴木

10 月企画・田村

11 月企画・長添

改善が必要な点

- 開催頻度、開催曜日、開催期間、内容（追加削除の有無）
- 総会の開催日時（多くの人に参加できる日・場所、企画とは別で行った方がよいか）
- 博士課程学生の参加増強、学生ではない若手の参入
- 参加者が少ない、もしくはいない大学への対応
- 誰かが意見を求めたとき積極的に返信する幹部が少ないこと
- 最初の企画はなるべく討論会や研究発表会など、互いを良く知る企画がよいのでは
- 企画費用が余った、もしくは足りない場合、どう対処すべきか？
- 企画を行った幹部と会計役員との間の金銭のやり取りを体系化する
- 前年度幹部が大学に在籍する場合は現幹部のサポートを行う
- 受動的企画と能動的企画のバランス
- 講演会の際の質問が少ない

5. 2006 年度の方針

新会長より方針を簡単に述べていただく

新規参加大学についての今後の方針（北関東の大学、千葉大学など 10 月号参照）

6. 2006 年度の企画案の提出および担当月の決定

各大学の企画内容を 2 つ以上提示し、各大学の担当月を決定する

- 工場見学は見学の時期が限定されているため、見学を企画案にしている大学の開催月を優先して担当の月を決定する
- 類似した企画が連続しないようバランスをとる
- 工場見学を企画案とする際は、見学可能な月と曜日、費用を事前に調べる。（工場見学の場合は土曜がライン停止なので、平日でも可とする）
- 講演会、討論会、工場見学などこれまでに行った企画については来年度も継続してはどうか？（例：「研究交流会」などをシリーズ化し、「晶析」や「触媒反応」などのキーワードを設定、そのテーマに関わる研究室に発表を行ってもらう）

7. HP 作製に関して

出来上がったホームページの内容を皆で吟味する

* 頻繁に更新を行う必要があるが、BBSなどで意見交換を行うなどの対応して
みては？ただし、いたずらに注意。(伊藤、横山・相澤、生江)

* コンテンツ案 (関根)

- ・活動趣旨、活動内容
- ・活動予定
- ・活動報告
- ・掲示板
- ・会員専用の掲示板
- ・新規会員の募集
- ・関連団体とのリンク

* 活動報告を掲載し、活動内容を分かりやすくする。(企画によっては、写真を載
せる) (高橋)

* 大学のリンクは大学の許可が必要では？(相澤)

* 会長と窓口役のアドレスだけを載せる。(相澤)

8. 2006 年度幹部への引継ぎ

必要な書類などを次年度幹部の担当役員に引き渡す

メールリングリスト(事前に作成し、決定後メールで送信する)

9. 3月年会企画について

企画内容の吟味

登壇者の選出について

企画で行うアンケートについて

懇親会の料金設定について

10. その他、連絡事項など

以上